

一 般 質 問 通 告 書

令和 8年 5月18日

議 会 議 長 様

議席番号 11 番

議員氏名 原 田 壽々子

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 公教育が担う役割とは	<p>質問事項1のテーマは、人を育てる公共です。かねてから私は、町全体の中心に置くべきは『教育』という考えがありました。</p> <p>初出馬の動機の一つにも、2人の子どもの教育において、生まれ育った横浜以上に杉戸町がすばらしい環境であったことへの恩返しをしたいという思いでした。</p> <p>今年4月には、当時の教育に大きく貢献していただいた石田先生が教育長に就任されましたが、23年前と比べて当町の教育行政の変化をどのように見ているのか。</p> <p>一方で、国においても、主体性授業への転換や給食費無償化、部活動の地域移行など、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。そこで、変化し続ける杉戸町の公教育について、課題と方向性を伺う。</p> <p>(1) 昨今の主体性教育で、『こどもの小さなSOS』が拾えるだろうか。いわゆるいじめに対する「制度的課題」です。県から提供された「いじめ問題の状況と今後の方向性」の資料では、いじめ認知は広く行う一方、重大事態認定との間に大きな差が生じる可能性あると感じます。このことを踏まえ、令和7年度の町の小中学校のいじめの実態は。</p> <p>(2) 令和7年度小学校卒業式において、令和10年度に廃校が予定されている西小学校に伺いました。</p> <p>在校生が欠席、送辞省略の中、5年間共に学んだ在校生に見送られることもない卒業式になっていました。その経緯と公教育における卒業式の役割は。</p>	町長 副町長 教育長 学校教育課長 教育総務課長 担当課長

5月18日 午前 8時45分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>2. シルバー人材センターに対する町の考え方は</p>	<p>(3) 中学校部活動について、県から第2期計画と基本理念・基本方針が示されています。計画の指標として、地域展開を実施する市町村数の目標は、現状値の29から62とされています。達成目標は令和10年度末ということですが、杉戸町立中学校の部活動における現状と、今後どのように地域移行・支援体制と向き合っていくのか。</p> <p>質問事項2のテーマは人を支える公共です。教育もそうですが、利益効率だけでは語れない公共事業のひとつに、シルバー人材センターがあると認識しています。ここ数年、真面目に取り組んでいる同団体の姿を拝見してきました。しかし、一方で、現在、移転先選定が難航し、一番の懸念材料になっています。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 現在の移転先選定状況と、今後の見通しは。</p> <p>(2) 他自治体では、特命による随意契約として、シルバー人材センターへ業務委託している事例も多く見受けられます。当町の状況は。</p>	<p>町長 副町長 高齢介護課長 管財契約課長 担当課長</p>